

masterpiece of the month
今月の逸品

職人かたぎ ハイパーカットソー HYPER CUT SAW

(株)シモムラアレック 静岡県静岡市葵区大岩町5-23
TEL 054(249)0832 <http://shimomura-alec.co.jp>



プラモデルや鉄道模型などの工作に興味のある方なら押さえておきたいのが、静岡市の(株)シモムラアレックです。下村朋道さんが1997年に創業し、オリジナルの模型製作用工具を企画、販売しています。

看板商品のHYPER CUT SAWは、鏡のような刀身の美しさが目を引く、刃渡り6センチメートルの小ぶりなこぎりです。小さいからといって侮るなかれ。職人の手仕事による目の細かな刃の切れ味は極上で、プラスチックなどの部材に驚くほどスムーズに刃が入っていきます。0.1ミリメートルという刀身の薄さも大きな特長です。刃の厚みが邪魔をしないので、切断時に失われる切り代が少なく、切り口も滑らか。小さな部品の加工もお手の物です。

下村さんが勤務先を辞して創業したのは、40歳代半ばのことです。趣味が高じて開いたミニチュアカーの専門店でした。しかし、2000年代に入ると、生産地である中国の人的件費上昇などを受けてミニチュアカーの仕入れ値は急上昇。値上げで販売が鈍り、やむなく2010年に撤退しました。

代わりに2009年から手がけているのが、自社企画の模型製作用工具です。ホビーショーで聞いた声ヒントになりました。昨今、精緻な模型が増えている半面、工具のほうに追いついていない。コアなファンは「マイ工具」を自作して用を足しているが、生半可ではその域まで到達できない。そうした状況が模型の世界への入り口を狭めているのではということです。

第一弾として企画したのが、HYPER CUT SAWでした。仏像彫刻などに用いる刃物を扱う職人を訪ねて製造を委託。熟練の模型製作者に試用してもらい、その評価を基にブラッシュアップを重ねました。こだわり抜いた商品は、職人の手が追いつかないほどの人気を呼んでいます。

「いい道具あります」。下村さんの名刺に書かれているこの言葉には、商品の性能に対する自負と、それを使って一人でも多くの人に模型づくりを楽しんでほしいという思いが込められています。
(渡辺 綱介)